

ま・く・ま・く・ネ・ツ・ト

済生会福岡総合病院 vol.074

ご自由にお取り下さい

Take Free

もくじ

- 2 副院長就任のご挨拶
- 3 病診連携ネットワーク
- 4 クラウドファンディングお礼
- 6 薬のおはなし
- 7 栄養部より
- 8 TOPICS
- 9 TOPICS・患者さんの声
- 10 新任医師紹介
- 12 各科診療担当表

無料低額診療と生活困窮者支援事業を行っています。

● 毎月第2水曜日には「健康相談会」も実施しています。

お問い合わせ先:092-771-8151(代表) 医療相談室まで

当院の理念

地域社会の皆さまや先生方に信頼され真の満足をしていただける病院づくり

当院の基本方針

済生の心で医療・福祉に貢献します

救急医療を充実し、高度専門医療を推進します

良質で安全な医療を提供します

地域医療連携を積極的にすすめます

副院長就任のご挨拶

『副院長就任にあたり』

副院長 はらだ のぼる 原田 昇



この度、4月より副院長を拝命しました原田昇と申します。これまで、1999年に九州大学病院において臨床研修を開始し、2004年に博士号を取得、その後は主に福岡市民病院、済生会福岡総合病院、広島赤十字・原爆病院、九州大学病院にて術前術後の外科集学的治療に取り組んで参りました。専門は肝胆膵外科、肝臓移植外科ですが、今回2023年より2度目の当院での勤務となってからは、消化器外科全般、救急医療をさらに力を入れて取り組んでおります。

現在、地域の皆様に安心、安全な医療を提供するために日夜取り組んでおりますが、中でも高度専門医療としまして一昨年11月よりダヴィンチでの肝切除術を開始し、その後当院はダヴィンチ肝切除術の保険適応病院となり、本年より膵臓手術においてもダヴィンチ手術を患者さんに提供したいと考えています。当院ではダヴィンチ手術を中心として低侵襲治療を安全に提供できる病院として、多くの皆様に認知していただけるように努力していきたく考えています。また、3次救急医療機関として、腹部外傷の手術におきまして、肝損傷、膵損傷、脾損傷、十二指腸損傷等に取り組んでいます。しかしながら、外傷手術はその損傷の程度が様々であり、非常に複雑な状況となることも多く、治療が困難となりますが、救急部のスタッフと協力して診療にあたっています。その際にもできる限り説明を尽くしまして、患者さんやご家族に納得していただけます外科治療、救急治療をお届けしたいと考えています。

一方で病院全体の取り組みとして、研修医の先生方や専門医制度におけます専攻医のレジデントの先生方の教育にさらに力を入れ、今後当院の研修医制度の第3者評価機構の受審を予定しており、病院における教育制度や教育そのものを充実したものにすることを考えています。

最後になりましたが、地域の開業医・病院の先生方より引き続き、大切な患者さんを任せいただき、退院後はかかりつけの先生方のもとで治療を継続できるように我々が努力することによって、信頼していただけるよう、これまで以上に努力していく所存であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

病診連携ネットワーク



くまのみクリニック博多院

院長 やまもと けいいちろう 山本 啓一朗 先生

診療内容 総合内科・循環器内科
消化器外科・整形外科・精神科

隈なき視点で、
あなたの暮らしを診守る在宅クリニック



くまのみクリニックは、「おうちの総合病院」として地域に根ざした在宅医療を提供する機能強化型在宅療養支援診療所です。24時間365日の対応体制のもと、循環器・消化器・整形外科・精神科など複数の専門医がチームを組み、幅広い症状や合併症に対応します。疾患の治療にとどまらず、介護・生活の視点を取り入れた包括的な支援を大切に、ケアマネジャーや訪問看護師とも密に連携。「受け入れが難しい」と言われるケースにも柔軟に寄り添い、患者様とご家族が住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、全力でサポートいたします。

〒812-0054
福岡市東区馬出 6-13-5-102
TEL 092-260-7231

【電話受付】
平日・土曜日 9:00～18:00

【休診日】
日曜日



地域医療連携室だより

4月より、事務部体制の変更に伴い、「広報部門」と「地域医療連携室」が統合され、新たに「医療連携・広報課」としてスタートいたしました。これまで広報部門は院内外への情報発信を、地域医療連携室は紹介・逆紹介を通じて地域の医療機関との連携を担ってまいりました。今後は当院の取り組みや診療体制をより分かりやすくお伝えするとともに、地域の医療機関や皆様とのつながりを大切にしながら、円滑で切れ目のない医療連携の推進に努めてまいります。地域に信頼される病院を目指し、院内外をつなぐ役割を大切にしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

(医療連携・広報課長 太田 成美)





クラウドファンディング活動報告

寄付総額：49,406,000円

第一目標金額 15,000,000円
NEXT GOAL 30,000,000円

当院は、2026年2月9日より病院救急車本体の購入費用に加え、車内での医療提供に不可欠な搭載医療機器の整備や、救急医療提供体制のさらなる強化に活用させていただいたための資金募集プロジェクトに挑戦し、5月8日をもちまして、無事に終了いたしました。

募集期間中は、地域の医療機関の皆さまをはじめ、多くの地域住民の皆さまから温かいご支援と応援のお言葉を賜り、心より御礼申し上げます。

その結果、572名の皆さまより総額49,406,000円ものご寄付をお寄せいただきました。

皆さま一人ひとりから寄せられた想いは、救急の現場や日常診療において、地域の医療機関と協力しながら患者さんをお支えている職員にとって、大きな励みとなりました。地域の医療をともに作り、支え合う仲間として当院が位置づけられていること、そして、その役割に寄せられる期待の大きさを、改めて実感する機会となりました。

本プロジェクトを通じて生まれたご支援とつながりを大切にし、いただいたご寄付は、病院救急車の購入および関連する医療機器等の整備などに大切に活用し、迅速で円滑な搬送体制の充実を通じて、地域の救急医療を支える力へとつなげてまいります。

今後も、地域医療の中核を担う病院として、医療機関や地域住民の皆さまと、命を守る医療を共に創り、支え合う存在であり続けられるよう、職員一同、誠実に取り組んでまいります。

クラウドファンディングプロジェクトの軌跡

2026.2.9 プロジェクト開始

2026.2.17 記者会見



2026.3.2 開始から22日目で
第一目標金額 15,000,000円達成！！



2026.3.3 救命救急センター 久城医師、
コミュニティラジオ出演でプロジェクトを
アピール



2026.3.17 開始から44日目で
NEXT GOAL 30,000,000円達成！！



2026.5.8 プロジェクト終了。

総額47,042,000円を達成！！

クラファンデコレーションチームもお祝い！



職員にもご協力いただき、
広報用の写真を撮影しました。



たくさんの温かいご支援、心のこもった応援のお言葉をありがとうございました！



薬のおはなし

vol. 17

6月から 後発医薬品のある
先発医薬品の自己負担額が変わります

ふたがみ さきこ
薬剤部 二神 咲子

診療報酬改定により、2026年6月から医療サービスの価格が変更されますが、今回はお薬に関する「長期収載品の選定療養」について、用語の解説も含めて説明をしたいと思います。

診療報酬とは、病院や診療所で受ける診察・検査・手術・薬の処方など、健康保険が使える医療サービス一つ一つに対して厚生労働省が定めた報酬（価格）で、点数表記されます。それらの点数を足し合わせて算出した金額（1点10円で計算）が医療費になり、患者さんは年齢や所得に応じて自己負担分を支払い、残りは加入している医療保険者から医療機関等に支払われることとなります。診療報酬は医療の進歩や少子高齢化、物価や人件費の動きなどに対応するため、原則2年に1度見直され、これを診療報酬改定といいます。



長期収載品の選定療養

長期収載品とは、医療保険の適用を受けてから一定期間以上経過した医療用医薬品のことで、「後発品がある先発医薬品」を指します。

選定療養とは、医療保険制度上の仕組みの一つで、患者さんが選択（希望）することにより、保険診療と保険外診療を併用できる制度です。患者さんは「保険で給付される部分」と「特別の料金として患者負担になる部分」の両方を支払います。

国は後発医薬品の積極的な活用を推進しています。『医療上の必要性がある場合を除き^{※1}、患者さんが先発医薬品を希望する場合、先発と後発医薬品の差額の一部を特別の料金として支払う』ということになります。

すでに2024年10月1日に開始されている制度ですが、6月から負担率が1/4から1/2に増えるため自己負担額が変わってきます。

今後、OTC類似薬^{※2}の制度の見直しも予定されていますが、単に患者さんの負担を増加させたいわけではなく、国民一人一人が健康的な生活やセルフメディケーションを行い、限られた医療資源を重症疾患に優先的に配分し、将来にわたって国民皆保険を守っていく（持続可能にする）ための国の方針なのです。

※1：先発医薬品が医療上必要と認められる場合、薬局で後発医薬品の在庫がなく提供が困難な場合は例外となります。詳しくは厚生労働省のホームページもご参照ください。

※2：OTC類似薬：医療用医薬品のうち、OTC医薬品（ドラッグストアなどで処方箋なしで購入できる市販薬）と成分が完全に同じで、用量・用法も同等の医薬品



後発医薬品のある先発医薬品の選定療養について（厚生労働省ホームページより）

栄養部より

大人の食育

管理栄養士
田中 千知

枝豆 ～お酒のお供の定番～

日中は汗ばむ陽気となりましたね。気温が上がり、ビールも美味しい季節となってきました。今回の大人の食育はお酒のお供として定番の「枝豆」についてのお話です。



枝豆は7月から8月に最盛期を迎えますが、6～10月頃まで出回ります。6～7月頃は味のあっさりした早生種、最も一般的な青豆（白毛豆）は7～8月頃、8～9月頃はコクのある茶豆、10月頃は味が濃厚な黒枝豆と品種が移りかわります。

枝豆はたんぱく質、カリウム、鉄分、ビタミンB群、食物繊維が豊富に含まれている食品です。さやの中に入っているため、茹でても栄養素を失いにくいという特徴があります。

たんぱく質：筋肉や臓器、皮膚など身体の構成成分の材料になります。
カリウム：身体の中にある余分なナトリウム（塩分）を排泄し、高血圧を予防します。
※腎機能にご指摘があった方はカリウムの制限が必要な場合もあるため、かかりつけ医にご相談ください。

鉄分：鉄欠乏性貧血を予防します。枝豆に含まれている鉄分は吸収されにくいので、ビタミンC（果物など）や動物性のたんぱく質（肉・魚・卵・乳製品）と一緒に摂取することがおすすめです。

ビタミンB群：疲労回復効果があります。特にアルコールの分解を助けるビタミンB1が豊富で、お酒のお供に最適です。

食物繊維：便秘の改善や予防に役に立ちます。腸内環境を整える他にも、コレステロールや糖質の吸収を抑える働きも期待できます。

さやが鮮やかな緑色をしており、産毛がしっかり残っているものが美味しい枝豆と言われています。

枝豆は鮮度が命です。収穫後すぐに甘みが落ちるため、購入後はすぐに茹でるか、冷凍保存をするのがよいでしょう。

お酒の飲み過ぎには気をつけて、暑さに負けずお過ごしください。

Topic 1. 毎年恒例 2025年度入職の新人看護師による
「ルーキー川柳大会」結果発表！

3月9日、新人看護師教育研修全日程が終了し、最後のフォローアップ研修が行われました。この1年を振り返り、思い通りにいかず悩んだ日々や、初めてできたときの喜び、その経験のすべてが今の自分を支えていると感じる時間となりました。ルーキーナーズ達が入職半年後に作成したルーキー川柳の入賞作品も発表。ユーモアあふれる作品、わかるわかると思わずうなづく作品など、今年も力作ぞろい。選出にあたってのコメントとともに発表します。



2025年度ルーキーナーズたち。部署の所属長や先輩からの贈り物（メッセージ）に感激！



課長賞（看護課長の投票）

13階病棟 「できること 増えた分だけ 怖さ増す」

選出者のコメント

- ・技術習得での成長と専門職業人として自覚の芽生を感じました。大変微笑ましい！
- ・まさにその通り！気づいてくれたルーキーの成長に拍手。自分が行うひとつひとつに、責任ある行動ができるようになってほしい。今後に期待を込めて！



ルーキー賞（ルーキーナーズの投票）

11階病棟 「家かえり 急に気づく やり忘れ」

選出者のコメント

- ・共感できる！自分だけじゃなかったんだと感じました。
- ・重大なことではないけれど、次の勤務者に申し送った方が親切だったかな～など思い出すことが多いから。



12階病棟 「同期愛 この存在は 宝物」

選出者のコメント

- ・同期に何度も救われることが多かったから、共感しました。
- ・同期がいるだけで安心するし、元気になれるから。

参加無料

Topic 2. イベント開催のお知らせ

六本松健康セミナー「専門医がお話しします ひざの痛み」

日時：2026年6月29日(月) 14:30~16:00 (14:00開場)

場所：福岡市科学館 6階 サイエンスホール
(福岡市中央区六本松4-2-1)

定員：150名 ※予約不要・先着順

「ひざの痛み、どう治す？一予防から手術まで」

整形外科 主任部長 水内 秀城

「すき間時間にひざ痛予防」

リハビリテーション部 作業療法士 松田 優希



健康教室

健康教室は事前予約制です。お電話もしくは会場窓口にて、お申込をお願いいたします。

開催日時	場所	テーマ・講師	連絡先
2026年 6月3日(水) 14:00~15:00 ※お申込受付中	博多市民センター 福岡市博多区 山王1-13-10	肝臓がんのおはなし 肝胆膵内科 宮崎 将之 医師	お電話 092-472-5991 博多市民センター HP
2026年 8月27日(木) 14:00~15:30	福岡市東図書館 福岡市東区千早 4-21-45 (なみきスクエア)	婦人科がんのおはなし 婦人科 丸山 智義 医師 (医師・看護師・がん相談の 個別相談会あり)	お電話 092-674-3982 ※申込開始日等の詳細については、各図書館および当院のホームページ・SNS等をご確認ください

《ご意見・お叱りの声》



ナースコールを数回押しても、なかなか反応がない時間が少し不安になりました。術後について、その日の大まかなスケジュールをメモ書きでいいので頂けると安心すると思いました。(8階：記名)

いただいたご意見を踏まえ、皆さまに安心して過ごしていただけるよう、以下の点を大切にまいります。①生体モニター音が鳴った際には、患者さんの安全を第一に考えて対応しています。担当スタッフだけで対応が難しい場合は、他のスタッフとも声を掛け合い、協力して対応いたします。②必要のないアラーム音が鳴らないよう、日頃から設定や確認を工夫しています。③朝の回診や検温でお部屋に伺った際には、その日の予定や点滴の時間などを分かりやすくお伝えします。ご不安なことやお困りのこと、気になることがありましたら、どうぞ遠慮なくお声かけください。(看護部)

《お褒めの言葉》

いつもこちらの病院にお世話になると大船にのったような安心した気持ちでいられ大変助かっております。職員の方々の感じも良く、受付から受診まで快く滞在でき、心丈夫に過ごせてありがたい限りです。〇〇先生はとてもの確でお話も分かりやすく無駄がないので、とてもスムーズに進み、病気の不安も和らぎます。いつも健康を見守っていただき、ありがとうございます!! (2階：記名)

各科診療担当表

2026年5月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科 (糖尿病、腎臓、感染症、血液)	糖尿病	澤田	鍋島	鍋島	澤田	木野	
	腎臓			原(第1・3・5)村山(第2・4)	高橋		
	感染症		岩崎			藤吉	
	血液	齋藤(再来予約のみ)	齋藤(再来予約のみ)	吉野(再来予約のみ)	九州大Dr(再来予約のみ)	齋藤(新患のみ)	
渡航ワクチン外来(完全予約制)		感染症Dr(13:30~16:00)					
心療内科 新患*予約制	新患			棚橋(午前)	棚橋(午前)		
	再来		棚橋(午後)			棚橋(午後)	
消化器センター (消化管、肝胆膵)	内科	消化管	水谷	落合	水谷	落合	向坂
		肝膵・胆道		立花	大野	立花	大野
	外科	肝臓	九州大Dr	宮崎		九州大Dr	宮崎
		消化管	定永・吉田	松浦・本坊	本坊・藤本	定永・藤本	吉田
		肝胆膵	泉	原田			
呼吸器センター	内科	午前	濱田	濱田	濱田 池田(再来予約のみ)	濱田	濱田・福岡大Dr
		午後		池田(再来予約のみ)			
	外科			平井・小野		平井	
総合診療部		交替制 ※当院は臨床研修病院のため、指導医の指導のもと研修医が基本的に診療を行っています。					
心臓血管・大動脈センター	循環器内科 新患・再来*予約制	新患	坂本	末松	久保田	長友	権藤
		再来	長友・萬納寺・内川	坂本・巷岡	古川	久保田・野副・渡邊	末松・中城
	心臓血管外科 新患*予約制	新患		峰松	峰松		
		再来		伊東(千)	峰松		交替
血管外科				伊東(啓)・青柳		伊東(啓)	
乳腺外科(完全予約制)		×	茂地・九州大Dr	×	茂地・九州大Dr	茂地 非常勤Dr(第1・3)	
がん治療センター *予約制	化学療法外来 (協診のみ)	新患	大賀	大賀	大賀	大賀	大賀
		再来	齋藤	齋藤	吉野	九州大Dr	齋藤(新患のみ)
	緩和ケア外来	交替制					
ゲノム外来		交替制					
脳卒中センター	脳神経外科	午前	梶原・宮城	×	河野・大津	交替制(新患のみ)	河野・安藤
		午後	梶原		×		×
	脳神経内科	新患(午前)	田中	園田	中澤	田中	近藤
		再来(午後)	近藤	田中	田中	中澤	園田
泌尿器科		上領	上領(第1・3・5のみ)	上領	上領	上領	
整形外科(要紹介状)		水内・屋良・今里	屋良・泊・宮房	春田・泊	水内・宮房・江崎	春田・倉本・今川	
形成外科(要紹介状) *診療時間 8:30~11:00		右田・岡村・田中	右田・岡村・田中 (再来予約のみ)	右田・岡村・田中	×	右田・岡村・田中	
婦人科(要紹介状) 新患*予約制		西・松浦・遅野井	丸山・米田・田淵	西・眞鍋	松浦・眞鍋・田淵	丸山・米田・遅野井	
眼科		×	小林・福山	×	小林・福山	小林・福山	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科(要紹介状)		小山・浦本	田中・浦本	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	小山・田中	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	
放射線科		中山・大島	中山・大島	中山・大島	中山・大島	中山・大島	

◆初診の方は、できるだけかかりつけ医の紹介状をお持ちください。当院は厚生労働省の方針に従い、紹介状をお持ちでない方は初診にかかる選定療養費を申し受けます。 ◆×は手術日のため、休診です。

受診(初診)受付時間
平日
午前8:30~11:30

ふくふくネット vol.074 2026年5月発行

- 発行：済生会福岡総合病院
福岡市中央区天神1丁目3-46 tel 092-771-8151
- 発行責任者：定永 倫明
- 印刷：株式会社西日本新聞プロダクツ

ホームページへの
アクセスはこちら

